

新発売

エンペラー[®] フロアブル



ノビエ



ホタルイ



オモダカ

皇帝の品格

- 新規成分エフィーダ[®] (一般名フェンキノトリオン) を配合
- 3成分で問題雑草をワイドに除草
- スピーディーな除草効果
- 水稲に高い安全性



エフィーダ[®] 配合
問題雑草に広く効く!!

※商品画像はイメージです。 ®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

自然に学び自然を守る





特長

- 新規有効成分“エフィーダ®(一般名:フェンキトリオン)”を配合した3成分の混合剤です。
- エフィーダ®によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイやコウキヤガラなどのカヤツリグサ科雑草が白化し、高い効果を示します。また、SU剤抵抗性雑草にも効果を示します。
- ノビエ3葉期まで使用することができ、また、ピラクロニル配合により速効的に褐変・枯れ症状がみられます。
- 高い水稲安全性を示し、移植水稲では移植時から使用することができます。また、飼料稲栽培時にも使用することが可能です*。

*既存の4-HPPD阻害剤に感受性が高いとされる、やまだわら、とよめき、タカナリ、モミロマン、ミスホチカラ、ハバタキ、おどろきもち、ふくおこしに対し、エフィーダは高い安全性を示すことを確認しています。

適用雑草及び使用方法

2018年11月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草及びマツパイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、エゾノサヤナクサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布 または水口施用
直播水稲	水田一年生雑草及びマツパイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲出芽前期～ ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布

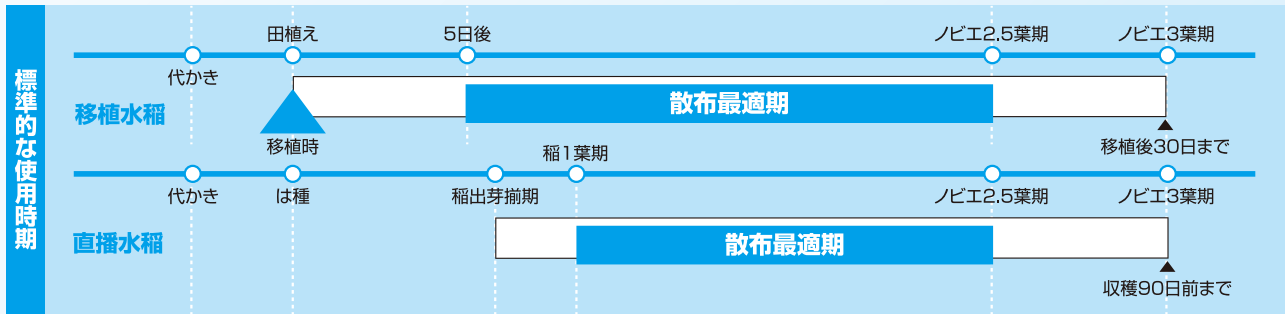
新規有効成分 フェンキトリオン(エフィーダ®) について

フェンキトリオンは水稲安全性に優れた広葉、ホタルイ防除剤で、雑草に対しては白化症状を示す4-HPPD阻害剤です。田植同時処理や鉄コーティングを含む直播栽培、飼料用稲品種等*に対しても高い安全性が確認されており、水稲作の幅広い場面で使用が想定されています。



※各有効成分を含む農薬の総使用回数:ピラクロニル2回以内、ビリミノバックメチル2回以内、フェンキトリオン1回

上手な使い方



△使用上の注意

- 本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がふれが出るので、必ず適期に散布してください。ヘラオモダカは2葉期まで、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは3葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生初期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はいいいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいいいに行ってください。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保持し、散布後7日間は落水、かけ流ししないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は、入水時に水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があ

ふれぬように注意してください。

- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田および漏水田(減水深が2cm/日以上)
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - 発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるので、稲の出芽が揃わない場合は、稲の不完全葉期以降に散布してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。

●いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病虫害防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△安全使用上の注意

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2018年11月現在の知見に基づき作成しています。 1615(18-11)